

RETZLINK

●保管用
●保証書付

オイルレス エアコンプレッサ

取扱説明書

RZ-0925FIC AC100V電源



もくじ

安全上のご注意	1~3
各部のなまえとはたらき	4~5
ご使用前の準備	5~7
ご使用方法	8~9
安全装置・仕様について	10
作業の終了	11
お手入れ方法	12
お手入れ・保管 能力・仕様	13
故障かな?と思ったとき	14
保証書、無料修理規定	15

○この度はRETZLINK製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




○この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただき、正しく安全にお使いください。

○ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。



○保証書は、「お買い上げ日・販売店名及び購買シール」などの記入を確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。




安全上のご注意 必ずお守りください。

●いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 ※表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や傷害の程度を次の表示区分で説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が重傷を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
 いずれも安全に関する重大な内容を記載しているの、必ず守ってください。
 ※お守りいただく内容を下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

 危険	
 禁止	●揮発性可燃物、可燃性ガスの近くで使用しない。 ※引火または爆発や発火、火災のおそれがあります。
	●分解や改造はしない。 ※事故やけがのおそれがあります。
	●タンクの両端にあるネジは絶対に外さない、加工もしない。 ※事故やけがのおそれがあります。
	●雨水や水の掛かる場所、湿気の多い場所での使用はしない。 ※漏電や感電などで発火の原因になります。
	●本機にて人体や動物の送気用に使用しない。 ※コンプレッサからの吐出空気は絶対に使用しない。
	●本機の上に物を載せたり、座ったりしない。 ※転倒し破損や変形したりして、けがのおそれがあります。
	●作業場所や作業環境に注意し、特に子供は近づけないでください。 ※事故や火傷の原因になります。
 実行	●ご使用前に本機取扱説明書を必ずよく読んで、使い方を理解してから使用する。 ※守らないと事故やけが、故障の原因になります。
	●本機は平らで硬い場所を選んで設置してください。 ※不安定な場所に設置すると本機が転倒、振動で移動して事故やけがのおそれがあります。
	●使用前に本製品及び使用機器のボルトやネジの緩みなどの点検を行ってください。 ※故障や事故の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 危険

❗ 実行

- 使用電源は単相交流 AC100V です。20A 以上の漏電ブレーカーが設置されている電源を単独で使用してください。適切にアース線を地中に埋め込む（電気工事に依頼する）
※アース線を適切に設置するには、電気工事士の資格が必要です。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 本機アース線をガス管・水道管などに接続しないでください。
※引火や爆発のおそれがあります。
- 空気の圧縮以外には使用しないでください。
※空気以外のガスを吸入すると爆発、発火のおそれがあります。
- 本機のモータファン(カバー内)に異物を入れたり、近づけない。
※内部ファン部に巻き込まれ、故障の原因になります。
- 本機作動中や停止直後のモータや金属部に直接触れないでください。
※圧縮空気や作動などで高温・熱くなっているので、火傷の原因になります。
- 本機を空気充填状態のまま長時間直射日光や、高温になる場所に放置しない。
※タンク内圧力が更に増し高圧になってタンクが破裂するおそれがあります。
- 本機を風通しの悪い場所や狭い場所(隔離した箱、車内など)では使用しない。
※本機の異常発熱となって故障、事故の原因になります。

❗ 実行

- 使用する電源差し込み口も異常がないか点検をしてください。
※傷んでいたり、欠け、ヒビ割れ、ゴミ、湿気などで漏電、感電、火災の原因になります。
- ご使用前には本機電源コード及び差し込みプラグに損傷がないか点検をしてください。
※事故や発火、発熱などのおそれがあります。
- 本機を始動させるときは、スイッチが[OFF]になっていることを確認してから、差し込みプラグを電源コンセントに接続してください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 漏電に注意してください。使用中は身体にアースされている物に接触させない。
- 本機作動中に異常音の発生、各安全装置誤作動、タンク内圧力の低下などの症状がみられたら直ちに使用を中止し、お買い求め販売店にご相談ください。
※直ちにスイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてタンク内空気をエアコックで抜く。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機によって圧縮された空気は湿気、大気中のホコリ等を一緒に吐出されるので、電子部品・人体等には使用しないでください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

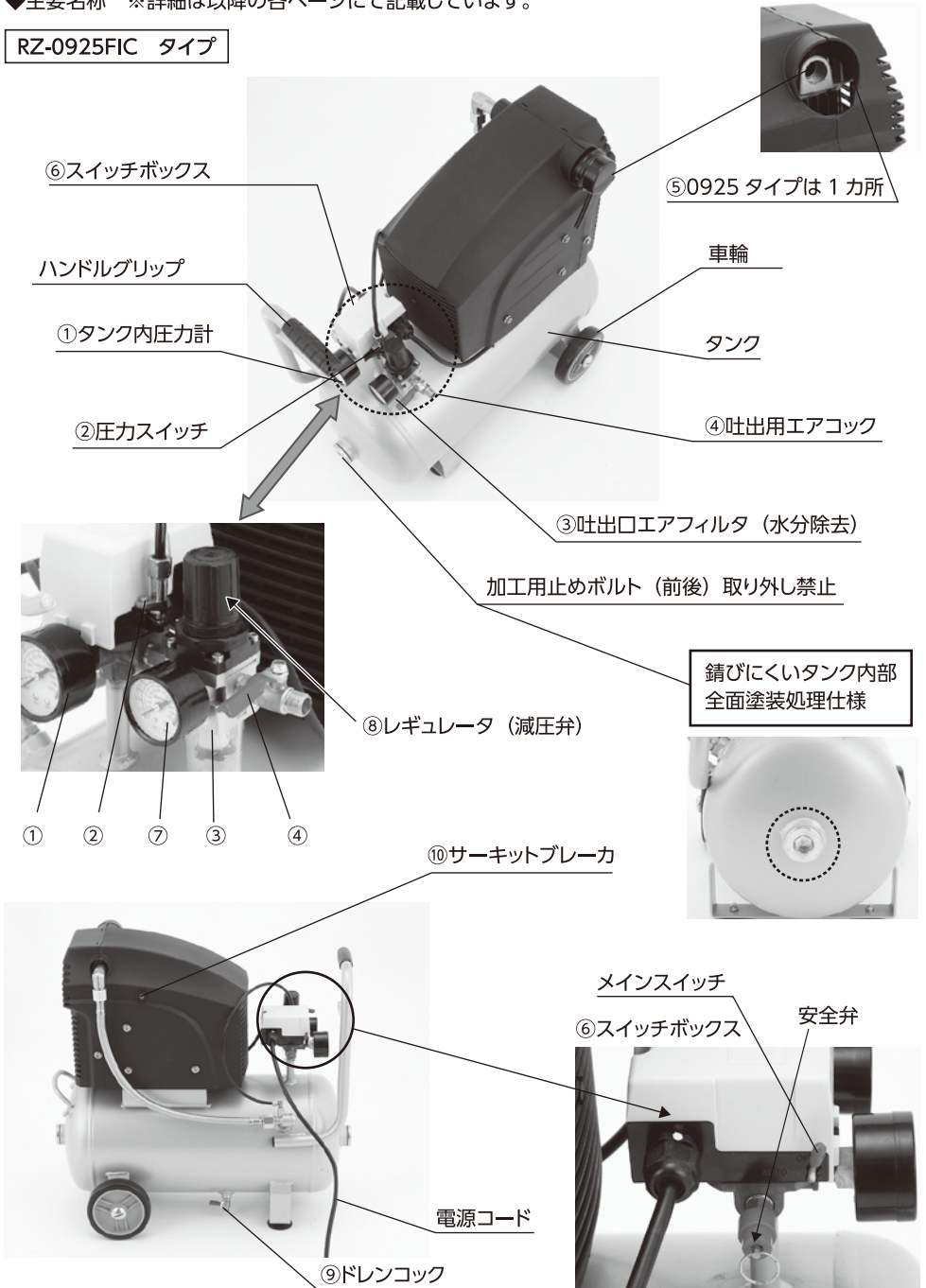
	⚠ 注意
🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none">●タンク内圧縮空気やドレンで水抜きをする場合は、吐出口に顔や手を近づけない。 ※圧縮空気や内部水分排出で、失明・耳などを傷めるおそれがあります。

	⚠ 注意
❗ 実行	<ul style="list-style-type: none">●作業場所は十分に明るくきれいにする。 ※暗くて視界が悪いと、事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●本機を丁寧にお取り扱いください。 ※転倒や落下でタンク等に亀裂が入るおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●本機の風通しをよくする為に、扉や壁面より30～40cm位離せる場所を選ぶ。 ※作動すると本機は熱を発生する為、機械にやさしい。
	<ul style="list-style-type: none">●作業は保護メガネを使用する。空気吐出で粉塵が舞い上がったりするなど環境によっては防塵マスク・手袋・ヘルメット・安全靴・耳栓なども併用する。 ※守らないと目、のどなど人体に傷害をうけることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●使用後は作業状態にもよりますが、月に一度定期的にドレンコックを開いてタンク内の水分を抜いてください。P-11 参照 ※タンク内空気圧力は全て吐出してから水抜きしないと、圧力で事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●エアホースを本機より外すときは、タンク内空気が全て吐出してから外す。 ※タンク内にエア圧力が残圧していると、カブラが跳ねけがや事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●環境保全のために、排出されたドレン(タンク内水分)の捨て場所を管理する。 ※サビ水のため、きちんとした水を溜められるトレイに受けて捨てるようにする。
	<ul style="list-style-type: none">●使用しない場合は、乾燥した場所、子供の手に届かない鍵のかかる場所に保管する。 長期間使用しない場合は、ドレンコックを全開に開き、5分以上作動して保管する。 ※守らないと事故やけがの原因になります。また本機の寿命を縮める原因にもなります。
<ul style="list-style-type: none">●本機を作動して別途エア工具、道具使用の場合は都度使用機器の必要圧力を確認し用途に応じて減圧弁(レギュレータ)で圧力を調整し、使用してください。 ※使用機器、道具の規定以上の圧力を掛けるとツールの故障のおそれがあります。	

各部のなまえとはたらき


◆主要名称 ※詳細は以降の各ページにて記載しています。

RZ-0925FIC タイプ



各部のなまえとはたらき

付属品
別売品

商 品	商品名 付属品数	別売品 ・ 品番
	◎コンプレッサ本体 1台	RZ-0925FIC
	吸引用 エアフィルタ	RZ-0925FIC 専用
	ワンタッチカプラソケット 1/4 1個	共有部品：CS- 5ー1 / 4
	パイプシール 1個	共有部品：PC- 1

※上記部品以外に本機取り付け済み部品が必要な場合は部品名を販売店舗に問い合わせください。
ご用意できる部品はお見積り後、販売致しますので安心してご利用ください。

番号	部 品 名	機 能
①	タンク内圧力計	・エアタンク内の空気圧力を示します。
②	アンローディングバルブ	・起動・再起動・停電・コンセント抜けなどに電磁弁の制御によりモータにかかる負荷の軽減装置です。
③	吐出用エアフィルタ	・吐出される空気圧力より混じる水分を除去します。
④	吐出用エアコック	・空気孔の開閉に使用します。
⑤	吸引用エアフィルタ取付口	・エアフィルタを取り付けるネジ差し込み口です。
⑥	スイッチボックス	・本機の入力電源の ON / OFFをします。
⑦	吐出圧力計	・吐出する空気圧力を示すものです。
⑧	レギュレータ	・吐出側の圧力を、タンク内圧縮空気圧よりも低い設定圧力に調整するものです。
⑨	ドレンコック	・タンク内に溜まるドレンを抜くときに開閉します。
⑩	サーキットブレーカ	・モータに異常な過負荷が掛かると停止する装置。

※⑨の吐出口エアフィルタに溜まった水分は、圧力により自動で排出されますので、分解などしないようにしてください。また別途 P-7参照

ご使用前の準備

◎使用前に「安全上のご注意」を必ずお守りください。
ご使用前の準備をよく読んでから準備を進めてください。

1 付属品の確認

○本機開封後、次の物がそろっているか確認してください。

- ①ワンタッチカプラソケット 1/4 1個
- ②吸引部静音エアフィルタ (チューブ付) 1個
- ③パイプシール 1個

①



③



②



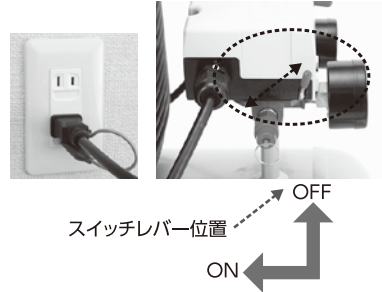
ご使用前の準備

2 本体の点検

- 使用前にタンクのひびや亀裂またはサビなどがいないか確認をしてください。
※事故やけがの原因になります。
- 各部のボルトやナットが緩んでいないか点検をしてください。
- スイッチボックス下部やエア吐出口などの変形、異常な傾きなどないかを確認してください。
※輸送途中や不意の転倒などで亀裂、緩みが原因で事故やけがのおそれがあります。

3 電源スイッチの確認

- 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。
「ON」状態なら「OFF」にしてから、差し込みプラグを電源コンセントに差し込んでください。(※右図)
※必ず「OFF」にしないと、不意に作動し事故やけがのおそれがあります。
- 吐出口のエアコックも閉じていること。
※開いていると吐出圧力空気だけがをるおそれがあります。

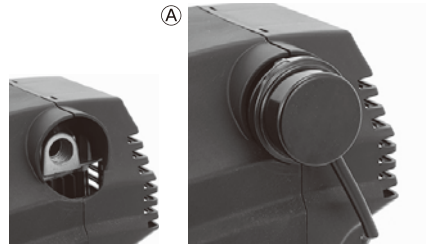


4 設置する場所の確認をする

- 本機を平らで硬い場所、風通しのよい場所に設置してください。
湿気やごみの多いところは避けてください。
※本機が転倒したり、振動で動いたり、加熱して故障や事故になるおそれがあります。
- エアフィルタの取り付けには、付属のパイプシールは巻かないでください。
※使用中に空気と一緒にパイプシールの一部が吸引され、故障や事故の原因になります。

5 吸引用エアフィルタを取り付ける

- ① 付属の⑤のエアフィルタを取り出し、
吸引口のモータ上部サイド側に取付をする。
(RZ-0925FIC) タイプ専用 1 個です。
※エアフィルタは作動時常に空気が吸引されているので、汚れや
ゴミが付着し本機の空気量が減少しモータに負荷を掛けます
ので時々掃除をしてください。(ご使用後の点検に)



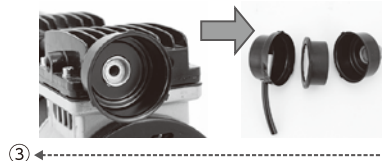
- ② エアフィルタ・全面キャップのみ押しながら外します・内部フィルタ清掃・キャップをはめ込む
本機取り付け状態から

① 上フタを押しながら。
無理せずに。

② 凹凸内で軽く回して
外す。

③ フィルタ清掃し、逆手順で

本機取り付けの凹凸部をあわせて、回してはめ込んでください。



6 吐出口エアフィルタについて (標準装備)

- 本機取付けの吐出口エアフィルタは、空気の圧縮によって
起こる水分を吐出する寸前で除去し自動で排出する装備です。

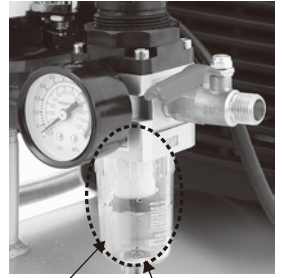
ご使用前の準備

○使用するエアツールを湿気による、サビや腐食によって故障したりすることを防ぐツールにやさしい機能です。

○使用する塗装などの作業においても水分を取り除き、少しでも湿気の少ないエアを送ることができる機能です。

※サビ水、ゴミ等が内部フィルタに付着し機能に支障が現れるようであれば部品交換も可能です。販売店にご相談ください。

P-12 吐出口エアフィルタの点検



⑨吐出口エアフィルタ 水分吐出口

●吐出口エアフィルタは本機タンク内空気圧力からなる水分を直接吐出する間に、水分を自動的に排出しますが、完全に水分を除去できるものではありませんので注意してください。よってタンク内に蓄積される水分は別途、タンクドレンコックにて水分を必ず排除してください。

※精密機器や電子部品・人体に直接吹きかけないでください、故障やけがのおそれがあります。

○ご使用前の準備によって

1) エアフィルタ（吸引用）は確実に取り付けられていることを確認する。

※取り付けないと異常音が生じたりモータ内部に異物が吸引され故障の原因になります。（パイプシールは巻かないこと）

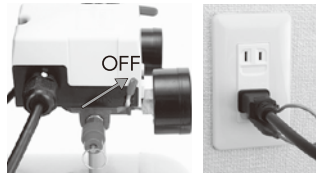
2) 吐出口のエアコックレバーが閉じていることを確認。

※エアコックを締めないと圧縮空気が吐出されてしまいます。

3) 上記1) を取り付け完了確認してから、本機スイッチが「OFF」になっていることを確認する。

※スイッチがOFFになっていないと、事故やけがのおそれがあります。

4) スwitchの「OFF」を確認してから、電源コンセントに本機コンセントプラグを接続する。



1) 図

2) 図

○電源は AC100V 単独で使用する。

○アース端子を接続する。

●やむを得ず延長コード使用の場合は、長さ10m以下断面積2.0 mm²以上を使用。

試運転

※安定した硬い地面の場所で行うこと。

1) 電源スイッチを入れる。

①モータが作動しタンク内部に圧縮空気が送られます。

※異常音や振動がないことを確認する。

②タンクの圧縮空気が約 0.8MPaになると、自動でモータは停止します。

③エアコックを少し開いてタンク内の圧力を抜いて、タンク内残圧が約 0.5MPa未満に低下するとモータが再起動することを確認する。

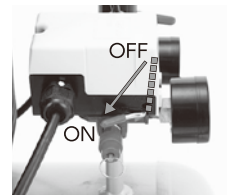
④再起動したらエアコックは直ぐに元の位置に閉じてください。

⑤再度作動状態でタンク内圧力が約 0.8MPaになって自動停止します。

スイッチを「OFF」にして③同様コックを少しずつ開いて残圧を全て抜く。

●エアを抜くときは、風圧、低温になりますので、顔や手を近づけない。

※事故やけがの原因になります。



警告

たとえ試運転でも本機を作動した場合は、空気の圧縮熱で金属部は高温になっていますので、絶対に直接本機金属部には触れないでください。
※やけどのおそれがあります。

ご使用方法

⚠ 警告

- 本機試運転の際、また通常作動直後は本機作動で空気圧縮熱での高温、金属部も熱で熱くなっていますので、火傷のおそれがあります。絶対に素手で触れないでください。

1 付属のワンタッチカプラソケットを吐出口エアコック1/4ネジに取り付ける

- ①吐出口エアコックに付属のパイプシールを2～4回くらい巻く。
ネジ部に時計回りに軽く引っ張りながら巻き付けてください。
※巻き数が少ないと最後まで締めてもエア漏れがあります。また巻き数が多いとカプラが確実にねじ込めなくなります。
- ②市販のレンチ（14 mm）でエアコックネジ部を固定し、ワンタッチカプラソケットを合わせてレンチ（19 mm）で締め付けてください。
※無理な締め付けはしない。
- ③ある程度締まったらコック本機側根元部を固定し（14 mm）、片方のレンチ（19 mm）でカプラプラグを締め付けてください。
※固定しながら締めないと故障の原因になります。

①エアコック部



14mmレンチ固定
(コック本機側根元部)

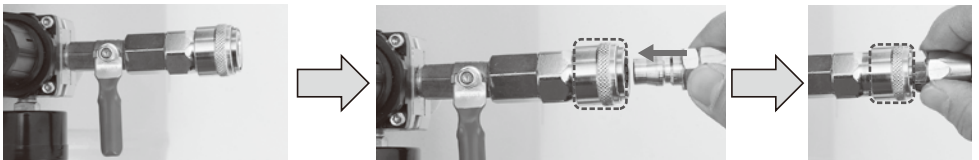
2 市販のエアホースを取り付ける

- 付属のワンタッチカプラソケット取り付け完了後、市販のエアホースのカプラプラグを差し込んでください。しっかりと奥まで差し込んでワンタッチカプラのリング部が手前に押し出されて、外れない事を確認する。接続完了です。
※完全に外れないか引っ張って確認してください。外れると事故やけがのおそれがあります。

②/③



カプラプラグを差し込む⇒確実に差し込むとプラグリングが移動ロックする



上図の点線部カプラリングが右図のように手前に移動。

3 圧力計のみかた

- 圧力計には2つの仕様が装備されています。

- ①タンク内空気圧力を示す機能
- ②吐出する圧縮空気圧力を示す機能
(レギュレータ調整によるもの) P-9 参照
※指定された使用圧力範囲内で使用する。

図①タンク内圧力計

図②吐出圧力計（レギュレータ）

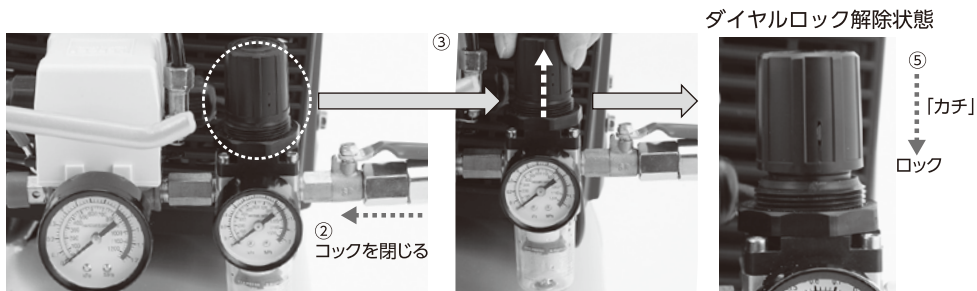


ご使用方法

4 レギュレータについて

○レギュレータは（減圧弁）タンクに溜められた空気圧が吐出される空気圧を調整するものです。

- ①各種用途エアツールによって使用される空気圧が違いますので、必ず使用されるツールに応じた指定された使用空気圧力でご使用ください。※使用圧力違いでツール故障も起きますので要注意。
- ②取り付けのエアコックが閉じていることを確認。
- ③レギュレータのキャップダイヤル部をつまんで上に引っ張る。「カチ」音



④レギュレータダイヤルロックが解除され、ダイヤルは左右に回すことができますようになります。

◎ダイヤルを右に回すと⇒吐出圧力は高く設定できる。⇒圧力計は上昇する。

◎ダイヤルを左に回すと⇒吐出圧力は低く設定できる。⇒圧力計は下がります。

吐出圧力計を確認しながらレギュレータ（減圧弁）ダイヤルを回して、吐出圧力の調整をおこなってください。

※タンク内空気圧力以上の高い吐出空気圧力は設定できません。

⑤吐出空気圧力が調整できたら、レギュレータのキャップダイヤルを真上から押してください。

「カチ」音がしたら、ダイヤルロックされた状態です。（確認する）

使用ツールによって吐出空気圧力を変更するときは、都度③、④、⑤を繰り返しておこなってください。吐出圧力計を見ながら調整をしてください。針が動かないときは、コックを開いて少し使用のツールを作動させ空気圧力を吐出し圧力計を定めてください。

※レギュレータのダイヤルは吐出空気圧力を設定後は必ずロックし、作業をおこなってください。モータの振動や触れたり、まれに回ったりして吐出圧力が変わったりすることがあります。

使用手順の確認

- ①タンク内に圧縮空気を溜めるために⇒タンクのドレンコック・吐出口のコックは閉じていること。
- ②スイッチと電源を確認する⇒スイッチは「OFF」で電源はAC100Vになっていること。
- ③付属の吸気部のエアフィルタは⇒取り付けられていること。
- ④付属のワンタッチカップラケットは⇒パイプシールを巻いて取り付けられていること。

※上記のことを確認し、各仕様もよく確認された上で、安全にご利用ください。

安全装置・仕様について

◎本機にはより安全にご使用いただくために、使用環境にやさしい仕様を下記にご説明いたします。

★ 1) タンク内塗装

○タンク内面未塗装と違いサビ・腐食から防ぐため、タンク内面塗装処理。
本機は吐出口にエアフィルタを装備し、さらにより腐食水等を防ぐために、タンク内面塗装し、さらなる品質の良い空気吐出する仕様をしています。



★ 2) オイルレス

○本機は面倒なオイル交換の必要のないオイルレス方式を採用しています。
メンテナンスフリーでオイル交換の手間がかかりません。

★ 3) エアフィルタ装備

○吐出空気の湿気をより軽減（除去）する吐出口にエアフィルタを装備。
圧縮空気をタンク内に溜めるときにどうしても湿気（水分）が発生する。
吐出される空気内にごみも混入し、使用のエアツール内の機能を妨げ、サビ・腐食などによって短命化するので、それらを防ぐ為に自動排出します。



4) ○電源コードプラグには本機の故障や、漏電などの際に電流を他に逃がし、感電事故を防止するアースクリップ付き。

※コードのアースクリップをアース端子に接続してください。アース端子のない場合アース棒やアース板を地中に埋め込み接続する。（工事は電気工事士に依頼）



5) ○安全弁の装備でタンク内空気圧力が異常に高圧になった場合に、空気圧力を自動的に減圧します。

※個人での改造や取り外しは絶対にしないでください。



6) ○アンローディングバルブにより、モータへの負荷軽減を図っています。
モータの起動時や再起動時、停電や本機コンセント抜け時にもモータに掛かる負荷を軽減し高寿命を図る。



7) ○モータ内部に異常加熱を未然に防ぐ温度センサーを装備しています。
モータ温度が過剰に上昇の際に停止させます。静音設計で約 75 dB（当社比）

8) ○サーキットブレーカによってモータに負荷電流が生じた場合に、停止する装置を装備しています。（リセットボタンで再起動してください）

※運転が停止した場合は、サーキットブレーカにある赤いボタンが飛び出していますので、ボタンを押して再起動させてください。
ボタンが押せない場合は、作業場の温度が高すぎるかモータ温度が高いのである程度時間をおいてモータ温度が下がってから押してください。



◎本機は PSE「電気安全法」での安全基準検査合格しており、ご使用のみなさまにより安全に、使いやすく、効率よく、高性能を発揮し使用されるため開発された製品です。

作業の終了

◎終了の手順

○作業終了後は、必ずタンク内エア圧力計を確認し、タンク内残圧を全て抜いてください。

①本機の電源スイッチを「OFF」にして、電源コンセントからプラグを抜いてください。



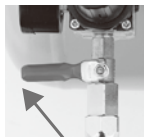
①-1



①-2

②本機タンク内圧縮空気を全て使い切ったらエアコックを閉じる。

※必ず使いきって残圧を無くすこと。

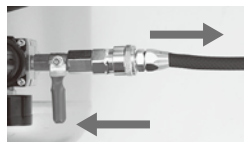


②

③お使いのエアホースを抜く。

※吐出口のワンタッチカプラソケットのリングを内側に押し、エアホースを抜いてください。

●エアホース内に残圧の空気が残っていると、圧縮空気のカプラプラグが飛ばされたり（跳ねたり）してけがのおそれがありますので、注意してください。

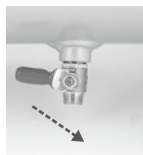


③

④本機エアタンク内の水分を抜いてください。

エアタンク下部にあるドレンコックレバーを下にゆっくり、少しずつ動かして、ドレン（水）を抜いてください。

※抜いた水にサビ水がでる場合がありますので、トレイなど置いておくといです。



⚠警告

- ドレンコックでタンク内の水を抜くときは、タンク内空気圧力を全て使い切ってからおこなう。
※空気圧力が残っていると、残圧で失明や耳を傷める事故やけがのおそれがあります。
- 使用後は毎回必ずドレンコックを開いて水を排出してください。
※本機は水抜きをしないと、エアタンク内に水が溜まり、吐出される空気圧と一緒にエアホース内を通り使用される各種ツール内部に運ばれ、故障やサビの原因になります。
- ドレンコックで水抜きする場合は、手や顔を近づけないでください。
※タンク内の圧縮空気圧排出で、失明や耳を傷めるおそれがあります。

⚠注意

- 作業後に吐出口のエアコックから圧縮空気を抜くときは、吐出口に付属のワンタッチカプラソケットが取り付けられている場合、たとえコックレバーを開いて吐出しようと思っても圧縮空気は吐出されません。よって使用ツールのスイッチを「OFF」にした状態で、圧縮空気を吐出して抜いてください。
また、取付のワンタッチカプラソケットを取り外して、吐出口エアコックレバーを開いて圧縮空気を抜いてください。

お手入れ方法

◎本機の性能や安全を保守・維持するために、定期的に点検をおこなってください。

点検の際は必ず、電源スイッチを「OFF」にし、電源から差し込みプラグを抜いておこなってください。

吸気口エアフィルタの点検

1) 吸気口エアフィルタの点検 ※RZ-0925FIC タイプは1カ所です。

○吸引エアフィルタ作動時は常に空気が吸引されているので、ゴミ・ホコリなどが付着し、吸引空気が減少しますので、本来の性能が発揮できないため、汚れたら掃除してください。

2) 右図のように吸引エアフィルタの本機側を固定し、外側のケースキャップを凹凸部溝が合うように軽く押しながら回して取り外してください。

3) ケースキャップと本機側のケース中央に、エレメントがあり（下図）ますので汚れを吹き飛ばしてください。

※汚れが酷い場合は、部品としてご購入してください。（店舗へ）

- a) 右図から左外側=ケースキャップ
- b) 右図から中央=エレメント（交換部品有）
- c) 右図から右本体側=本機側ケース



吸気口エアフィルタ

各種圧力計の点検

1) 各種圧力計は不意に物をぶつけたり、落としてメータ表面が割れたり、欠けたりしたら、使用時に問題が起きますので、交換または修理依頼を販売店におこなってください。

※内部の湿気や劣化での故障もありますので注意してください。

吐出口エアフィルタの点検

1) 内部のエレメントが酷く汚れたら、取り外し分解して清掃をしてください。

2) エレメントの下部透明ケースを時計の逆回しで外す。

3) エレメントの真下部の、+ネジをスタビードライバーなどで緩めて外す。

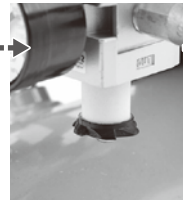
4) エレメント、PC 押さえ、ネジに分解しエレメントのみ洗浄する。

5) 組み立ては分解の逆手順でおこなってください。

2)キャップを回す



・外した後



・外したキャップ



3)取り外し



4)エレメント分解



・洗浄



お手入れ・保管

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、お買上げの販売店が修理を受けさせていただきますので、恐れ入りますが、製品の取扱説明書（必須）及び店舗ご購入時の保証書またはレシート等の店舗日付のあるものを添えてください。
※不備が有るときは保証期間であっても保証できない場合がありますので、ご了承ください。

保証期間を過ぎている場合は

- 修理見積は有料です。修理すれば使用できる製品については、見積り希望によって修理させていただきます。
※修理をせずにキャンセルする場合は、見積中の基本料をご請求させていただきます。当社にて無料処分も可能ですが、有料になる場合もございます。
- 修理検証の最中にキャンセル返却希望の場合は、基本料+返送運賃一部請求になります。
※修理検証中、修理途中の場合は、組み立てをせずに返却する場合もありますので、ご了承ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料金は有料（商品によって異なります）見積書参照
※保証期間であっても、お客様の使用による問題である場合は有料となります。
- 技術料：有料 ※診断・故障場所・修理・調整・修理後点検、その他作業に掛かる費用。
- 部品代：有料 ※修理に使用した部品、及びその他の補助材料です。

能力・仕様

- ◎本機は各種エアツールの動力源となる圧縮空気を供給するための空気圧縮機です。
市販されるエアツールを接続し様々な用途に使用することができます。

品番	RZ-0925FIC
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
回転速度	1,400min-1 / 1,700min-1
定格消費電力	710W / 850W
最高使用圧力	約0.8MPa
再起動圧力	約0.5MPa
タンク容量	25L
流量0.0~0.8MPa時	80L~30L/min / 90~40min
吐出口サイズ	R1 / 4
作動音	約75dB(フィルタ有)
質量	約24kg

- 商品改良のため、外観、仕様などを一部変更することがありますので、ご了承ください。
- 作業の際は、必ず使用するツールの必要圧力などを確認の上、用途に応じて使用する。
- 圧縮空気には、湿気やホコリ等が混入し吐出されますので、電子部品や乾燥には使用しない。
- 用途以外には重大な損害や事故・けがの原因になりますので絶対に使用しない。

故障かな?と思ったときに

	症 状	考えられる原因
使用前	<ul style="list-style-type: none"> ●付属部品が不足 ●取扱説明書がない。 ●本機のモータ接続品が破損している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●包装箱の隅や本機に隠れていませんか。 ●お買い上げの販売店にご連絡ください。
使用中	<ul style="list-style-type: none"> ●作動しない ●サーモスタットが働いている。 ●サーキットブレーカが働いている。 <ul style="list-style-type: none"> ●圧力が上がらない。 ●圧力が低い。 ●吸引口エアフィルタのエLEMENTが汚れている。 <ul style="list-style-type: none"> ●安全弁からエアが漏れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が通電していますか。 ●差し込みプラグが正しく差し込んでありますか。 ●一度スイッチをOFFにして、モータが十分に冷えてから、スイッチをONにしてみる。 ●電圧ドロップして電力不足、直接電源に接続する。 ●延長コードを使用していませんか。やむを得ず延長する場合は、コード断面積2.0mm²以上で長さ10m以内のものを使用してください。 ●電圧が下がっているので、15A以上の電源を単独で使用してください。 ●サーキットブレーカボタンが飛び出していたら、一度ボタンを押して正常に押せる事を確認する。 ●各部取付ネジ部からエア漏れていませんか。漏れる音を聞いて場所を検知してネジを締め対処する。 ●取り外してゴミなどを吹き飛ばしてください。 ●吐出口レギュレータの圧力調整を確認する。ダイヤルで適正に調整をする。 ●市販の接続ホース・ツール接続部を確認してください。 ●安全弁の寿命ですので、販売店に修理依頼をする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●電磁弁よりエアが漏れる。 ●吐出エアフィルタから水が漏れる。 ●水分が非常に多く吐出される。 	<ul style="list-style-type: none"> ●起動時や再起動時にモータに負荷が掛からないように空気圧を抜いているもので故障ではありません。 ●自動で水を排出しているので、故障ではありません。 ●タンクのドレンコックで水抜きをする。

※上記の症状や対処でも正常に作動しない場合は、お手数ですが販売店までご連絡ください。

直接当社または販売店に送付されても、処理、対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

※本機の保管については、

長期に使用しない場合は、きちんと保管してください。乾燥した場所、湿気の少ない場所、

子供の手の届かない場所に保管し、必ず使用直後にタンク部のドレンコックを開いて、2~3分程度

運転をして水抜きをしてください。

無料修理規定

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されます。一切の工事費用などには適用外となります。
 2. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
 - 使用上の誤り、不当な改造・修理による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動・輸送・引越し・落下などによる故障及び損傷。
 - 火災・水害・地震・落雷・その他の天変地異・公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外に(業務用の長時間使用・車両・船舶への搭載作業)使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明される物が無い場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
 3. 本書は付属品及び消耗品には適用されません。
 4. 本書は日本国内においてのみ適用されます。This warranty is valid only in Japan.
 5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売、譲渡には適用されません。
 6. この保証書は、本書に明示した条件・期間のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
- ※修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。また、修理ができない場合もごめいますので予めご了承ください。

◆お客様お問い合わせ窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に保管して、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供はいたしません。

本書は販売店名・お買い上げ年月日を証明できるもの(販売店レシートや証明書)が添付されていない場合は無効です。保証期間であっても有料修理となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内に取扱保証書等の注意書きに従って、正常な使用・保管状態が故障した場合には、本書により無償で修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品(本体・付属品)の取扱説明書(保証書)と、及びお買い上げ時のレシートが保証書を共にご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	RETZLINK オイルレスエアコンプレッサ RZ-0925FIC	JAN	4920501319264	お買い上げ 年月日	年 月 日
----	--------------------------------------	-----	---------------	--------------	-------

お客様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様 電話 _____
販売店 <small>証明書など添付</small>	ご住所 _____
	社名・店舗 _____ 印
	電話 _____

の欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

お客様お問い合わせ窓口：TEL 0256-46-8037

受付時間 月～金曜日 9:00～12:00

13:00～17:00

(土・日・祝祭日・当社指定休日を除く)

株式会社 RETZ

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺2丁目25番29号

●商品の仕様、外観は改良のために、変更することがあります。